

令和4年度第5回 稲武地域まちづくり推進協議会 議事録

日 時	令和4年8月30日（火）午後7時00分～8時00分
会 場	稲武支所2階 団体会議室

1 あいさつ

○大内会長

今年は暑い夏ではあったが、だいぶ涼しくなってきた。ただ、心配なのは台風11号が発生していることもあり、何か気候がおかしいように感じる。本日も慎重審議をお願いしたい。

2 協議事項

(1) 各団体からの現在の取組、課題などの発表について

①NPO稲武まちづくり協議会

NPOの深見副理事長と高崎理事が出席して説明を行った。

深見；今年度のNPO稲武まちづくり協議会の取組を説明したい。

- ・稲武まつりは数年ぶりに開催したが、特に打上花火については色々な意見があると思う。今後の検討事項であると考えている。
- ・雪み街道については、寒さが厳しい冬に人を呼べるイベントを実施しようと始めたが、近年ではカメラマンが集まる大きなイベントになってきたと実感している。
- ・たすけあいプロジェクトは、利用者が伸び悩んでいる。利用する可能性がある人への周知を強化する必要がある。
- ・地域貢献型ワークスペース試行事業については、実証を通して、山間地で仕事ができることが改めて分かった。都市部のエンジニアの方との交流を通じて地域振興に役立つことができるとよい。今秋以降も企画を考えているので、ぜひ参加してほしい。
- ・ラリーを通じたまちづくりについては、稲武地区にとっては、ラリー競技そのものよりもリエゾンでの交流が大事だと考えている。来訪者をもてなし、いかにお金を使ってもらえるかが稲武にとって重要である。
- ・シロキヤラリーについては、これまで豊根村で開催してきた経緯があるが、今回は大部分を稲武で実施することになった。どんぐりの里いなぶにも協力していただき、会場として使用する。

・WRCについては、約500名のチケットがほぼ完売したと聞いた。来訪者にお金を落としてもらえるような取組をしていきたい。

尾形副主幹；シロキヤラリーについて補足したい。今回は参加車両台数が増える予定になっており、道の駅の多目的広場などを利用する予定である。また、スペシャルステージ（競技区間）については、市道稲武小屋賀沢線、林道後山線が今回から追加されている。

古橋久三委員；クラシックカーの展示会場として古橋懐古館駐車場が記載されているが、稲武町自治区会館の駐車場も利用するか？

→尾形副主幹；利用します。資料を修正する。

→三江副会長；近日中に地元の皆さんには説明に入る。

三江副会長；シロキヤラリーについては、以前からスタッフなどについて、稲武で宿泊してもらうように要望してきたが、今回は豊根村での宿泊だけではなく、参加者がフリーに予約することになったため、要望が少しずつ実現している。

②社会福祉協議会稲武支所

中村委員；

- ・子どもの居場所づくり支援事業については、今年の夏休み期間は約80名の参加があった。
- ・昨年度、稲武地区の老人クラブが解散した。その際、約40万円の寄附があり、地域ふれあいサロンの貸出備品の取得に活用させていただいた。
- ・道の駅リニューアルに際して、どんぐり横丁で障がい者と協力して制作した缶バッチのガチャガチャ販売を開始した。
- ・福祉を支える職員の体制について、平均年齢が60歳を超える状況となっており、将来に渡る体制確保のためには人材育成が重要だと考えている。

古橋真人委員；運営にあたっての財源はどのようになっているか？

→中村委員；市からの委託料、介護保険料、社協会費、補助金があり、市からの委託料と介護保険料が大半となっている。

古橋真人委員；介護分野は人材不足で、取り合いになっていると聞くと聞くと、どのような状況か？

→中村委員；人材不足は深刻であることから、無償ボランティアの存在が重要であり、なんとか充実するような取組をしていきたい。

山田副会長；稲武福祉センターの改修計画はあるのか？

→中村委員；2、3年後に改修する計画があると聞いている。市の所管課と協議したい。

大内会長；民生委員との連携はどのようなか？

→中村委員；民生委員の地区協議会に職員が参加し、個別事案等について情報共有している。

中村委員；社協は弱った人が行くところというイメージを払拭したい。

→山田副会長；いつかは自分も必要とする。他人事ではなく、自分のこととしてみんな認識してほしい。

→杉田委員；たすけあいプロジェクトや皆さんの交流の場にもなっており、自治区のプロジェクトなどの機会があれば協力していきたい。

→中村委員；地域に開かれた明るい場所での居場所づくりが大切であると考えており、また協力できることがあればお願いしたい。

横田委員；人材不足の話が出ていたが、生産年齢人口は減少し、仕事を持っている状況を踏まえると福祉を支える側になりにくい。例えば、学生などの関わりたい人が入れ替わり立ち替わり関わりが持てるようなスキームが構築できるとよい。その際、旧商工会館が活用できるとよいと思う。

次回は、稲武地域会議、稲武地域営農協議会が発表する。

3 各種話題提供について

(1) ワーキング部会、各委員からの報告

佐藤委員；どんぐりの湯は長寿命化修繕工事に伴い、8月29日（月曜）から休館させていただいている。どんぐり横丁については、リニューアル後、多くの人にお越しいただいている状況であり、地域の活性化に引き続き貢献できたらと考えている。

→三江副会長；オープニング月間として色々なイベントを実施したが、開催報告の機会はあるか？

→佐藤委員；実行委員会では特に取りまとめしないこととした。

山田副会長；商工会とは違う話題になるが、小田木人形座の旗揚げ公演を9月24日（土曜）に開催する。なお、入場料1,000円は文化振興財団の収益になり、団体側には1円も入ってこない。

横田委員；①とよたまちさとミライ塾の事業で、午前にトヨタケ工業でワークショップを行い、午後にマウンテンバイク体験乗車の事業を行った。今後も開催を予定している。

②8月14日（日曜）には、地元向けのトレイルオープンを行った。里帰りした孫を地元のおじいちゃんが連れて参加してくれて、こちらの狙い通りの体験機会を提供できた。

③マウンテンバイクの取組は6年前からスタートしたが、6年前に小学生だった子が高校生になり、インターンとして戻ってきてくれた子がいた。このような子たちにとって、地域に対する見方が変わるかもしれないため、とにかく続けていくこと重要であると考えている。

4 次回開催日

令和4年9月27日（火曜）午後7時～ at 稲武支所団体会議室

<以 上>